

## 九十九里浜クロマツ人工林における広葉樹林化のための目標林型

九十九里浜のマツ材線虫病により枯れが進んだクロマツ人工林において植生調査を行い、広葉樹林化を進める際の目標林型を明らかにした。海側の林縁部では、トベラーマサキ林やこれをモデルにした人工林が目標林型として適当と考えられた。また、内陸側の高木林ではタブノキーエノキ林やこの人工林が目標林型として適当と考えられた。ただし、水分条件等によりタブノキの成長が悪い場所では、トベラーマサキ人工林やエノキ林が目標林型として適当と考えられた。



林縁部の目標林型：トベラーマサキ林をモデルにした人工林



内陸側高木林の目標林型：タブノキーエノキ林

千葉県九十九里浜におけるマツ材線虫病により枯れが進んだクロマツ海岸防災林の目標林型の検討. 関東森林研究, 61, 223-226

九十九里浜における枯れが進んだクロマツ海岸防災林の広葉樹林化の方向. 平成 21 年度試験研究成果発表会資料. 6-12